

子孫残す闘い クロイワゼミ 交尾場面撮影

【大宜味】県のレッドデーターブックで絶滅危惧Ⅱ類のクロイワゼミが交尾して

読んでも広がる NIE

いる様子を、NPO法人おおきみまるがことツリズム協会エコガイドの大山章さん(49)がこのほど撮影した。専門家による



オレンジ色のクロイワゼミの雌を2匹の雄が奪い合っている＝2日、大宜味村(大山章さん撮影)

とクロイワゼミの交尾の瞬間が撮影されるのは、とても珍しいという。

クロイワゼミは沖縄本島と久米島にしかない。大きさは2センチ前後で、体全体が緑色をしている。大山さんが2日に大宜味村内の山中で撮影した雌は、

個体変異により、オレンジ色だった。2匹の雄が、1匹の雌を奪い合う様子を確認した。オレンジ色は雌でまれに見られるという。

辻和希琉大教授(昆虫生態学・行動学)は「クロイワゼミは中南部で数が少なくなり、交尾が撮影されるのは大変珍しい。自然が残り、個体数が多い大宜味だから観察できたのだらう」と話した。

大山さんは「こうした機会に、子どもたちがやんばるの森に興味を持ってほしいと話している。森の生き物観察などの問い合わせは同協会 ☎098(851)5190(金城潤)